

# みんなちがってみんないい

## その(3) 指導教諭 木村 栄

前回は、LDについてお話ししました。今回はADHD(注意欠如/多動症)についてお話しします。

みなさんは偉大な発明家として知られるトーマスエジソンをご存知だと思います。彼の言動を調べた研究家が、ADHDの可能性があると述べています。他にも、後世に伝わる言動から、織田信長や坂本龍馬などもADHDだったのではないかと言われています。

エジソンは小学生のころ、学校の簡単な課題に集中することができず、いつも先生に叱られていたそうです。また、彼は常に「なぜ? どうして?」という疑問をもち、担任の先生に尋ねていたそうです。彼が小学校をわずか3ヶ月で中退したことは有名です。

そんなエジソンを母親は、「誰にだって、苦手なことはあるわ」と広い心で受け止め、見守り続けました。エジソンの教育は主に母親が行っていたのです。

ADHDもLD同様、原因がはっきりしていません。脳の中樞神経に伝達異常があることは分かっているのですが、その原因は特定できていません。日本語名称からも分かるように、「不注意」「多動性」「衝動性」の三つの特徴があります。ただし、すべてのADHDの子に、この三つの特徴すべてが表れるわけではありません。

「不注意」とは、集中すべき時に集中することができず、ちらちらと注意が散ってしまうことです。

「多動性」とは、落ち着きがなく、そわそわして、座っていても体や視線が動いたり、席を離れて自分の興味があるものに向かったりすることです。

「衝動性」とは、自分の感情をコントロールできず(おさえきれず)即座に反応してしまうことです。

具体的には、

- ・音がした方や人が通る姿など、ちょっとした刺激にすぐに反応してしまう
- ・集中する力が弱く、ボーっとしたり他のことにすぐ興味がそれたりしてしまう。
- ・深く考えず、ものごとをパッと見ただけで判断してしまう
- ・結果を考えずに行動してしまう
- ・興味のあるものは、すぐ触ったり手に取ったりせずにはいられない

などがあります。

こういうことは幼児期や小学校低学年には、よくあることです。しかし、あくまで「性格の範囲」であり、その状態が「同年齢の子どもたちに比べて、あまりにもかけ離れている」、または「中学年になっても、なかなか成長が見られない」ということになれば、「適切な支援を必要としている」と考える必要があります。軽々しく、「あの子はADHDだ」などと言うことは、あてはまらないことです。

小さい子は、ほとんどみんな多動ですし、不注意についても、世の中には「うっかりさん」はたくさんいます。小さい子は年齢が上がっていくにつれて落ち着いてきますし、「うっかりさん」も社会の中で適応していきます。ですから「小さい子の多動」即ADHDではありませんし、「うっかりさん」がすべてADHDでもありません。問題は環境に適応できているかどうかなのです。

次回は、自閉スペクトラム症についてお話します。(元小学校長 浦上保彦先生の記事を参考にしています)

今回までに、学習障害の一つ「LD」と「ADHD」について、木村指導教諭に原稿を書いてもらいました。

時津東小学校には、このような困り感をもっている子どもたちをサポートできるシステムがあります。それは、通級指導教室「すずらん」です。「通級指導教室」では、子どもたちの困り感に合わせ、それを克服していく手助けをしています。基本的には週1時間、担任の先生と相談して決めた時間に、個別に支援を行います。「すずらん教室」担当との1対1の授業です。

ここでは、わからない学習を教えるのではなく、学習がわからなくならないために、どうすればいいのかを指導していきます。

また、友達同士のコミュニケーションがうまくいかない子どもには、「ソーシャルスキル(社会の中で暮らしていくためのスキル)」のトレーニングを行います。

それぞれの子ども困り感に合わせた指導を行うのが通級指導教室なのです。

もちろん、困り感が解消されれば、通級指導の「すずらん教室」に通うことは終了となります。必要な間は指導して、困り感をなくして通わなくても大丈夫なように指導をしていくのです。

以前はなかったシステムですので、まだ広く知られていないところがあります。そこで、東小学校では、希望される保護者と相談し、「おためし」ですずらん教室を体験できるようにしています。その様子を保護者の方にご覧いただくことも可能です。

「LD」や「ADHD」と診断されていなくても、それに近い困り感をもっている子どもたちは少なくありません。できるだけ早く、その困り感を少なくしてあげることが大切です。「なぜ、どうして?」と常に質問していたエジソンは、適切な教育によつ

てその能力を発揮しました。子どもたちが本来もっている力を発揮できるように、困っていること、苦手なことから解放してあげましょう。

通級指導の「すずらん教室」について知りたい方は、遠慮なく時津東小学校までご相談ください。



時津東小学校に、「スクール・カウンセラー」が派遣されていることをご存じでしょうか?

週に一度本校でカウンセリングを行っています。悩んでいる子どもたちには、困っている子どもたちには、保護者の許可を得てカウンセリングを受けてもらっています。

子どもさんのことで悩んでいる保護者の方もカウンセリングを受けることが可能です。一人で悩む前に、ぜひご相談ください。日程の調整等は、主幹の香田教諭が行います。お問い合わせください。